

入園児を募集

平成22年度 あいかわ・さわた・ 小木幼稚園

お申し込み・お問い合わせ
あいかわ幼稚園 ☎74-3234

さわた幼稚園

募集園児（1年保育）満5歳児（平成16年4月2日～平成17年4月1日生）

お申し込み・お問い合わせ

さわた幼稚園 ☎52-3333

小木幼稚園

募集園児（1年保育）満5歳児（平成16年4月2日～平成17年4月1日生）

昼間共働き等で家庭に見てくれる方が誰もいない園児については、希望により小木子育て支援センターにて午後6時まで預かり保育を実施します。

お申し込み・お問い合わせ

小木幼稚園 ☎86-2403

申込用紙は、各市立幼稚園・教育委員会学校教育課（☎23-4898）および教育委員会各事務所・出張所に用意してあります。

あいかわ幼稚園

募集園児 満3歳児（平成18年4月2日～平成19年4月1日生）／満4歳児（平成17年4月2日～平成18年4月1日生）／満5歳児（平成16年4月2日～平成17年4月1日生）



姉妹都市を たずねて

～入間市(埼玉県)～

昭和61年10月に旧両津市は入間市と姉妹都市提携を行いました。佐渡市誕生以降は、佐渡全域に交流地域を拡大して交流が続いています。

入間市は、都心から40キロメートル圏に位置する緑に恵まれたまちです。面積は44.74平方キロメートルで、東西9.3キロメートル、南北9.8キロメートルの菱形をなしており、周囲は、埼玉県所沢市、飯能市、狭山市および東京都青梅市、瑞穂町にそれぞれ面しています。

入間市の歴史はかなり古くまでさかのぼることができます。

奈良時代には、前内出窯、平安時代には、須恵器窯跡群である東金子窯跡群（窯跡群としては前内出窯を含む）が操業していました。そのうち、八坂前窯跡や新久窯跡は、埼玉県南部の集落に須恵器を広く供給するのみならず、武蔵国分寺の塔再建時に使われた瓦などを生産していたことで知られています。聖武天皇時代、全国に設けられた国分寺に奉獻された瓦のなかに

は、入間の群名を見ることが出来ます。江戸時代になると、天領、藩領、旗本領と支配が入り混じっていたものの経済活動は活発化していきました。特に江戸末期において扇町屋（入間市北部の地域）は、穀物市や木綿市が立ち、地域経済の拠点として栄えました。

明治期に入り、現在の入間市の原型ともいえる町村（豊岡町、金子村、宮寺村、藤沢村、東金子村、元加治村、元狭山村）が成立し、その後、2度の町村合併を経て、昭和41年11月1日、埼玉県で25番目の市として「入間市」が誕生しました。さらに、昭和42年、西武町との合併で現在の市域を構成するとともに東京の近郊都市としての行政基盤が確立され、現在に至ります。

入間市の特産品では、狭山茶（埼玉県下全般に生産されるお茶の総称）が有名で、その生産量、栽培面積は埼玉県下一を誇っています。また、昨年には国内最大級のアウトレットモールがオープンし、休日は首都圏からの買い物客で賑わっています。

